

NETISで VEに昇格登録

NIPPOの舗装緊急
補修材「凹道埋たろう」

NIPPOが販売する道路舗装の緊急補修材「凹道(あなみち)埋たろう」が国土交通省の新技术情報提供システム(NETIS)の事後評価でVE(活用効果評価済み)に昇格登録された。登録番号KT-170095-VE。

「凹道埋たろう」は、道路舗装の欠損部の応急的な

累計9万袋以上を販売
(写真はパッケージ、NIPPO提供)



補修に使う袋詰めタイプのカットバック改質アスファルト系常温混合物。耐久性が高く天候に左右されないため、高速道路や幹線道路のポットホールの補修、雨

天時や湿潤状態の舗装補修で高い効果を発揮する。

高粘度アスファルトを使用することで耐久性が大幅に向上し、補修頻度が減るため安全性も向上。流動性と作業性が高く施工性に優れ、材料ロスも少ないといった利点が活用効果調査で評価された。

2014年の販売開始から22年3月末までに累計9万袋以上を販売。需要の高まりを受け、19〜21年度の直近3年間では年間1万3000袋を販売している。

NETIS登録 のVEに昇格

NIPPOの 「凹道埋たろう」

NIPPOが販売している道路舗装の欠損部を応急的に補修できる「凹道埋(あなみちつめ)たろう」が写真、国土交通省の最新技術情報提供システム(NETIS)の活用、効果評価(事後評価)により、

VEに昇格登録された。通常、NETISの登録期間は5年だが、AからVEへの昇格により、10年に延長される。

凹道埋たろうは、袋詰めタイプのカットバック改質アスファルト系常温混合物。2014年に販売を開始し、22年3月末までに累計9万袋以上を販売している。

特長として、耐久性が高く、天候に左右されないため、高速道路・幹線道路のポットホールの補修や雨天時・湿潤状態の舗装補修で効果を発揮する。

活用効果調査の主な評価結果は「高粘度アスファルトの使用で、耐久性が大幅に向上」「耐久性の向上により、補修頻度が減ることが見込まれ、安全性が向上」「動性・作業性が高いため施工性が良く、材料ロスが少なく、雨天での施工も可能」となっている。

